



2015.8.20

No.53

芦屋「九条の会」ニュース

発行責任者：片岡 隆

連絡先 090-7118-2312

ホームページ <http://ashiya9.web.fc2.com/>

「戦争法案」を廃案に！！

安倍政権は7月16日、国民多数の反対の声を無視し衆院で戦争法案を強行採決した。この法案は武力攻撃事態法など10の既存法を書き換え一括法案とし、それに一つの新法（国際平和支援法）を加え複雑に継ぎはぎされているが、その本質は米軍と一体化して自衛隊の活動範囲に地理的制約をなくし、切れ目なく拡大しようとするもので、戦争への道を大きく開くものに他ならない。軍事に頼らず、国際協調を基本としてきた戦後日本の平和主義を根底から変えようとするものである。8月9日長崎の平和宣言で、田上市長は「憲法の理念がゆらいでいるとの不安と懸念が広がっている」と述べている。この戦争法案は圧倒的多数の憲法学者が指摘するように、海外での武力行使を禁じた憲法9条を破壊する違憲の法案であり、立憲主義を無視した集団的自衛権の憲法解釈変更を具現化しようとするもので、絶対に認めるわけにはいかない。

「アベ政治を許さない」の声、さらに大きく

舞台は参院に移ったが、相変わらず意味不明、あいまいな答弁を繰り返す安倍政権。自衛隊の活動に何ら歯止めがなく、解釈により運用次第で際限なく広がっていき、法案の危うさを露呈し続けている。例えば、集団的自衛権が行使できる数少ない事例として機雷除去が中東ホルムズ海峡から南シナ海へと広がり、また自衛隊の後方支援も核兵器や劣化ウラン弾の運搬までもが法律上は可能となる。集団的自衛権の行使容認を解釈改憲で認めるような政権に白紙委任するわけにはいかない。いま、「アベ政治を許さない」との声は高まり、ひとびとの怒りと運動は確実に広がっている。今国会での強行反対の声はどの世論調査でも急速に拡大し、安倍政権の支持率は急落している。毎週の国会前大規模集会の他、全国各地で様々な抗議集会が行われている。また、SEALDsを中心に大学生や高校生も立ち上がった。今こそ、圧倒的な世論の声で安倍政権を追い込んでいこう。

芦屋では、「戦争させない市民行動」による集会・デモが9月10日18時から芦屋市役所北側広場で開催されます。みなさん、是非ご参加ください。



（東京・渋谷で行われた若者デモ）